

日本石鹼洗剤工業組合 海外進出へ意欲

私の
H & B
日記

こたつの魔力

風邪が整
この魔
と思う
は敵
そう
(黒)

西村氏

志水理事長

平岩副理事長

ーマに、細胞研究を軸にしたバイオ産業の進展による医療・健康分野の展望について、日本の現状と欧米中の取り組みを比較しながら紹介した。

んできた実績がある。水商材では特に、家事で食器洗いを担当しているたが日本ほど潤沢ではない世界の国々に目を転じれば『水を使わない洗剤』になっている。現在の製品のような製品の開発が急は高い洗浄力でありながら、手にやさしく、泡切

福井泉副理事長は「技術画期的な製品づくりに向かいます」を発展していく中で、私たちのインダストリーがもたないのでは

[illegible]

とエールを送った。

乾杯の挨拶に登壇した平岩雅志副理事長は、米国のトランプ大統領に名指しで指摘されている日本の大手企業を引き合いに「世界から注目される大企業ではないからこ

一方で、眠っているのが当然、水分補給ができず、身体は脱水症状を起こし、喉の乾燥や脱水による疲労感など風邪

その、グローバルに展開できるチャンスもあるはずだ。そのためにも、引き続き切磋琢磨して付加価値のある製品づくりに取り組んでいく必要がある」と述べた。

そ、グローバルに展開できるチャンスもあるはずだ。そのために、引き続き切磋琢磨して付加価値のある製品づくりに取り組んでいく必要がある」と述べた。

「女心」攻略 データベース

第76回
バブルに憧れる女心

女性誌HERS3月

号の特集企画にお声がかかって、80年代後半J・J編集部で活躍していたライターとして、座談会に参加してきました。テーマは「J・J」が私たちに残したもので、何だろう？です。

主にお嬢さんの神戸ス・スタイルを発信していましたが、面白かったのは、東京のトラッドベ・ースの上品カジュアルを担当していたライターと、慶応や関学のミ・スターキャンパスを愛

現役女子大生の頃からバブルの時代真っ只中の20代に、楽しい毎日を切り取るように、面白がってつくっていたJJ。ファッションもビューティーもキャンパスライフから生まれる車ごとアシスタントに使って、大学の有名人オンパレードで関東VS関西のファッション対抗企画を作ったこと。また、メ切入稿の度に、編集部で頼んでいたゴージャスな出前メ

リアルをそのまま企画にしていたあの頃の中心メンバーが20年ぶりに再会しました。「変わらないね!!」。年月を経ても、女子大の白百合と聖心、共学の青二葉の話から、海外取材の際には、学生だったにもかかわらず、自宅から空港までお迎えの車が来てくれたことなど、次から次へと、バブル時代の怖いもの

学、成城を代表していたオーラは変わらず、話し始めたら、アツという間にバブル時代にタイムスリップ。神戸出身の私は親子3代で受け継がれていくエレ

なしの思い出話がエスカレートしました。

また、つい先日、ある企業から新しい夫婦の消費スタイルについて調査を依頼され、都内に住む30代のオビニ

加し、世界一の経済大
 国になったという高揚
 感が高まる中、週休二
 日が本格的に推進さ
 れ、余暇ビジネスが拡
 大しました。
 売れる車は高級車と
 平成6年の664・2
 万円をピークとして5
 41・9万円（平成27
 年厚生労働省調査）ま
 で下降、中央値は42
 7万円で平均所得以下
 は61・2%になっている
 高まっていく中で、
 在主流になっている
 身大の消費から少し
 け背伸びした消費へ
 期待が高まりつつあ
 りのかも知れません。
 執筆者・中野靖識

で、
いる
少し
費へ
うあ
ん。
靖識

●解説者プロフィール●

中野靖識 榎井井総合研究所 上席コンサルタント

小売業を中心としたマーケティング戦略立案および実行支援を主業務としている。

特に、現場の戦術、戦闘レベルの業務である商品構成・売場作り、プロモーション、それらを最大限に活かすための社員教育までカバーしている。戦略立案から現場へ落とし込むまでの一貫した業務経歴を豊富に有する。

問い合わせ先
株式会社ヴィーナスプロジェクト 小林
TEL 03-3408-7765
Mail venus-project@fine.ocn.ne.jp

洋英和に通う中学時代から、学校のある六本木、麻布はお庭のような場所、部活で遅くなった学校の帰りに見かけるバブル時代を謳歌するお姉さんたちが眩しくて仕方なかったとか。今でも、その時代を経験してみたかったと思うそうです。その時代に、飯倉のキャンティで打合せしながら、JJを作っていた私の20代の頃、そしてその延長にある現在も、すべてが羨ましいというこのようでした。

ディコンスタイルが賑り上げられ、TVコマードーシャルやお笑い系の女性タレントによって、80年代の音楽と共にクローズアップされています。「あの頃は楽しくかった」「いや、楽しかった」といって仕方なかったという空気が、それらを経験していない若い女性たちにも伝わっていくのだと思います。

バブルへの憧れとは、若くして海外の一流品を持っていたり、一流レストランでお食事したり、モノもコトも贅沢な消費の経験へ

最近 私が何だか若い女性に人気があるのは、もしかして、このバブルに憧れる女心からかもしれません。80年代の元気な女性たちのスタイルとして、ミラーボールが似合うと思います。

執筆者・中村浩子

という環境の中、リゾート開発が進みゴルフ、スキー場は人であふれ、マハラジャなど高級デイスコで夜通し遊ぶ若者が増加し、「女もできます」。

「子大生」がブランドとして最ももてはやされた時代だったように思います。

手が届きそうで届かないから憧れが大きく、なるものと考えれば、20年近い不景気感から

現在の世帯収入は、平成6年の664・2万円をピークとして541・9万円（平成27年厚生労働省調査）まで下降、中央値は427万円で平均所得以下

次の好景気への期待が高まっていく中で、現在主流になっている等身大の消費から少しだけ背伸びした消費への期待が高まりつつあるのかも知れません。